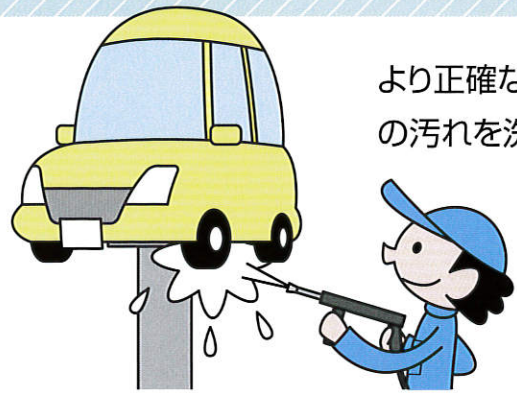




エンジン 下廻り洗浄料

定期点検時
一般整備時

 自家用乗用車等



より正確な点検および整備を実施するための準備として、エンジン、下廻りの汚れを洗浄するための料金です。

洗浄作業例



¥ 下廻り塗装料

定期点検時
一般整備時

🚗 自家用乗用車等



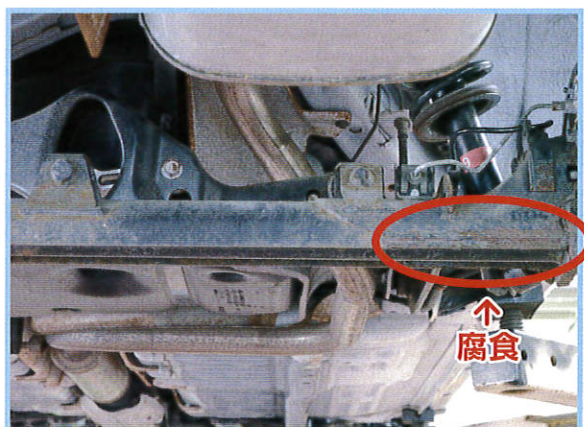
車の下廻りは常に厳しい環境にさらされており、走行条件や環境によっては、傷付いたり腐食する可能性があり、特に降雪地域では、凍結防止剤散布による腐食が懸念されることから、これらを防止するための塗装料金です。

下廻りの腐食、塗装例

●フレーム、シャシ部品の腐食例

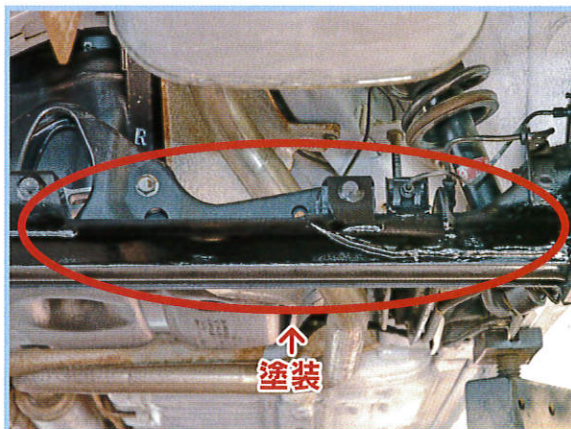
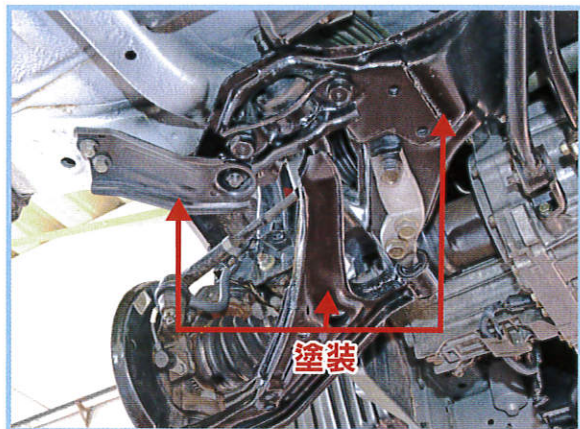


凍結防止剤の付着等により、フレームの腐食が進み、亀裂が生じてしまった状態



下廻り塗装が経年劣化し、シャシ(足廻り)部品に腐食が生じてしまった状態

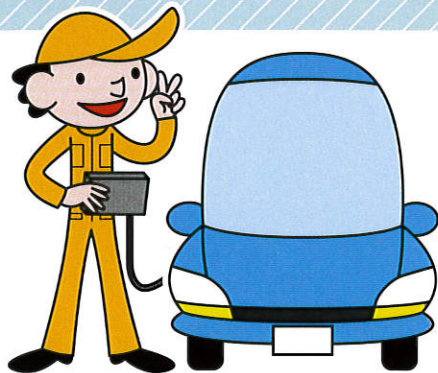
●下廻り塗装例



¥ 故障診断料

定期点検時
一般整備時

🚗 自家用乗用車等



人間の場合でも診断をしなければ病気が治せないように、車の故障を整備する際に診断が必要になる場合があります。故障診断料とは、車の異常や不具合の原因を特定するために診断を行うための料金です。なお、不具合発生時以外にもスキャンツールによる故障診断を実施することにより、潜在的な不具合の有無を確認でき、突然の故障を未然に防ぐ有効手段となります。

車の故障診断は、「問診」「診断」「点検」の3つで構成されています。

車両入庫

問診作業

診断作業

点検作業

整備

検査

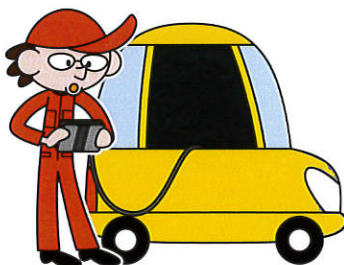
問診作業



不具合状況を正確に把握し、整備するための重要な作業!

お客様との対話により、不具合状況を把握するための作業です。

診断作業



専門的な知識を有する整備士による故障部位の特定!

問診結果に基づき、スキャンツールなどを用いて故障部位を特定するための作業です。

点検作業



同じ故障を再度発生させないためには原因の特定が必要!

診断により特定された故障部位を点検し、原因究明するための作業です。



スキャンツールとは?

自動車用のスキャンツールとは、自動車のコンピューターに接続し、各装置の目視等では分からない情報を入手できる診断用ツールのことです。

スキャンツールで診断できる代表的な装置例

エンジン

点火装置、燃料装置、吸気装置、冷却装置、排気装置 等

トランスミッション

変速装置、断続装置 等

ステアリング

パワーステアリング装置 等

ブレーキ

ABS装置、アシスト装置 等

エアバック

展開装置 等



故障整備時以外にも潜在的な不具合の有無の確認が可能!

(注意) スキャンツールの種類や性能等により、診断できる装置及び内容が異なります。また、全ての不具合を発見できるものではありません。